

第10回「Qの会」 研修会報告

11月8日中澤氏家業業会
議室において、第10回「Qの
会」研修会が開催されました。
今回の研修会は、糖尿病看護
認定看護師である、畑中あかね
先生をお迎えして「糖尿病看護
認定看護師の役割と実際」とい
うテーマで行われました。

はじめに、先生の認定看護師
としての足跡を通して、認定看
護師の役割・実際の活動につい
てお話しされました。認定看
護師は、直接患者に接しての指
導・看護だけでなく、糖尿病看
護のシステム作りや、後輩の指
導・育成を行うことが、大切で
あるということを知ることが
できました。

次に、グループに分かれ、指
導困難事例の検討を行いました。
各グループより活発な意見
が出されました。先生より患者
を一面から見るのではなく、多
面的に評価することが大切で
あること、固定観念で患者をみ
ないことなどの指摘がありま
した。日頃指導にゆきつまつて
いる事例に対し、対処方法の手
がかりとなりました。

先生の話し方はとてもパワ
フルで糖尿病看護に対する情
熱が伝わり、看護に対する意欲
を駆り立てられる研修でした。

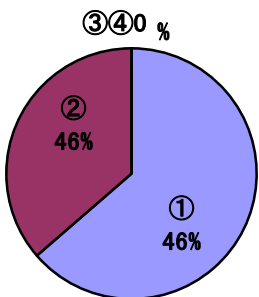
研修会のアンケート結果

第10回研修会参加者42名
のうち33名より回答をいた
だきました。

アンケート結果は、下のグラ
フをご参照ください。
構成については「積極的な思
いで取り組むことができた」「グ
ループワークでは自分の視点と
違った意見が聞けて参考にな
る」「グループワークが短かつ
た。症例検討をもっとしたい」
などの意見がありました。
内容については「講師の先生
が輝いておりとても刺激的だっ
た。」「畑中先生の講義をお聞き
して、勇気・元気ができました」

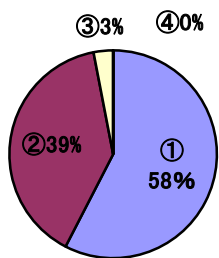
「実践的で他の人の意見も聴
けてよかった」「新しい視点に
気づいた」など様々な意見が寄
せられました。
今後の研修内容としては、
「ファシリテーター」「事例検
討」「フットケア」などがあり
ました。
皆様いつもアンケートへの
ご協力ありがとうございました。
貴重なご意見を参考にさせて
いただきます。

構成について



- ①おおいに良い
- ②まあまあ良い
- ③あまり良くない
- ④よくない

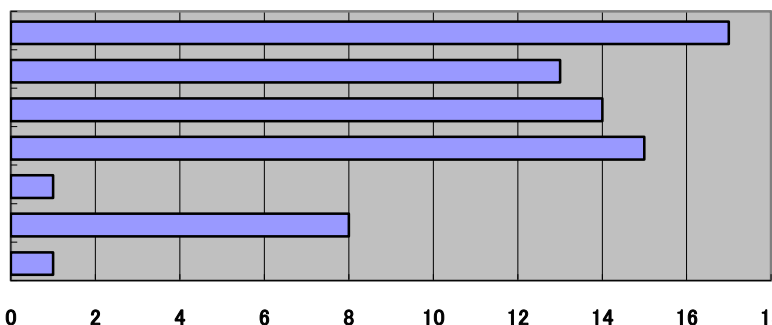
研修会の内容



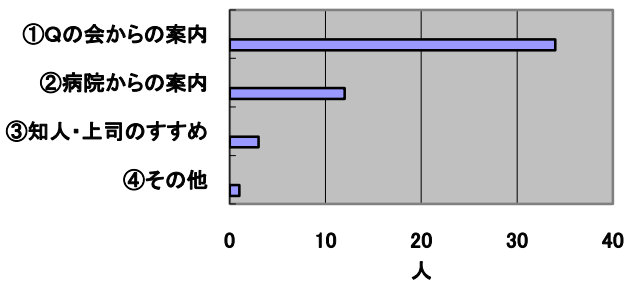
- ①おおいに満足
- ②満足
- ③やや不満
- ④不満



研修会参加のきっかけ(複数可)



研修会をどうやって知ったか



学会・研修会のご案内

認定更新のための研修単位が
取得できる予定の研修会をお知
らせします。

☆第53回日本糖尿病学会・

第2群4単位
日時：2010年5月27日
(木)～29日(土)
場所：岡山コンベンションセ
ンター他
連絡先：TEL 086・
805・2233

☆第4回日本慢性看護学会・

第1群2単位
日時：2010年6月26日
(土)～27日(日)
場所：北海道立道民活動セン
ター(かでる2・7)
連絡先：FAX 0133・
23・1472

☆第3回中国ブロック糖尿病看

護スキルアップセミナー・
第1群4単位または第2群2
単位
日時：2010年7月4日
(日) 9時55分～16時
40分
場所：山陽新聞社本社・さん
太ホール(岡山)

☆第14回日本糖尿病教育・看護

学術集会・第1群または
第2群 4単位
日時：2010年10月10
日(日)～11日(月)
場所：東京国際フォーラム
連絡先：FAX 03・35
08・1302

☆日本糖尿病学会中国・四国地方

会第48回総会・第2群
4単位
日時：2010年10月29
日(金)～30日(土)
場所：ひめぎんホール
(愛媛)
連絡先：FAX 089・9
60・5627



研修会風景

《会員の声》

楽しく・優しく・元気に
Qの会の研修会に参加して

キナシ大林病院 山西育子さん

心地よく優しい関西弁での講
義、関西出身の私にはしばらくそ
心地よさそうに感じました。こ
い。でもその内容からは優しい
語り口とは反対に厳しい現実の
中で「フットケア外来」を作り上
げて行かれる過程での大変なご
苦労の様子が随所に感じ取られ
た。それをさらっとした様子で語
られる畑中先生、「すごい人だな
と素直に思った。こんな看護師に
出会えた患者さん達やスタッフ
は本当にラッキーだ。さて、自分
はどうだろうか。関西出身だけに
ユーモアのセンスとのりのよさ
はまずまずですが、自分の信念を形
にしていける情熱と根気強さは残
念ながら今の自分にはまだまだ
足りない気がつきました。午後か
らのグループワークでは他施設
の方の考えや実践経験なども聞
け、今からでも遅くはないと
にかく一歩踏み出せ」と勇気づけ
られる思いがした。Qの会自体が
「楽しく、優しく、元気」な雰囲
気を持っている。参加すると本当
にいつも元気がもらえるので研
修の案内を心待ちにしている私
なのだ。

第11回「Qの会」総会・

研修会のご案内
日時：6月27日(日)
10時から16時30分
場所：香川大学医学部看護学科
メインテマ

『高齢者の生きる世界』への接近
—高齢者を支えるために必要
なもの—
講師：宮城大学看護学部看護学科
教授 小野幸子先生



第14回 日本糖尿病教育・看護学術集会で 発表を終えて

平成21年9月19日～20日に「糖尿病看護の実践
を拓く」というテーマで開催された、糖尿病教育看護学
会に参加して「香川県糖尿病療養指導士看護ネットワー
ク会員の糖尿病看護の実態調査」というタイトルで発表
を行いました。平成19年「この研究に取り掛かり、会
員の糖尿病看護実践の実態とその背景を明らかにする
ことにより、会員の研修へのニーズ把握の示唆を得る」
という目的で研究を進めてまいりました。平成20年1
月にQの会会員の皆様にアンケート調査をさせていた
だきました。回答いただいたアンケートを分析し、研究
調査グループで検討し、①生命に直結したり、合併症の
悪化・予防からQOLの低下につながる看護の項目への
実施比率が高く、その重要性も高いと認識している。②
患者の個別性に応じた看護の実践を行うために看護方
法の工夫が必要である。③重要性の認識が低く、実施比
率が高い項目においては、療養を継続していくための看
護実践が必要である。④本調査対象者は糖尿病の患者教
育にならぬかの形でかかわっている。⑤糖尿病関連部署
に所属しないCDEJは専門性を発揮できる部署への
配属を希望している。という結果が得られそれを発表
いたしました。今後も色々な調査や研究を行い、香川県
の糖尿病看護の質の向上を目指していきたいと考えて
います。

(記：香川大学付属病院 藤本さとし)



◆編集後記：ピンクの絨毯として新緑の葉桜、桜の木の力強さ
を感じます。Qの会も桜に負けず糖尿病看護を目指して、今年度
も元気に活動を行って行きたいと思っております。皆様のご協力を宜し
くお願いいたします。
広報担当 串田久美・木村裕美